

2024年総選挙公示日にあたって 全日本民医連・看護理事一同からのアピール

自ら選択して、社会を大きく変えられるチャンスです

～総選挙で、軍事国家ではなく、ケア最優先の社会へ切り替えましょう～

人のいのちに触れながら、たくさんの喜びや感動、葛藤や悲しみ、苦しみを受け止めていく『看護』という仕事。 そんな看護には無限の力があります。

平和あっての人間の尊厳、いのち、暮らしであり、看護・介護は平和あってこそ実現するもの。

いのち・暮らしを守るケアの担い手として、私たちの希望ある未来を切り拓く…

その力は皆さん一人一人にあります。

私たちの思い・願いを託し…「選挙に行きましょう！」

「憲法でアクション!!ケアこそ未来を切り拓く」



みなさんひとりひとりのアクションが社会を変える、政治を変える、大きな力となっていきます。被災地のみなさんをはじめ、困難な立場にありながら、政府の自己責任論で更に追い込まれている多くの方たちの現状にも思いを馳せて、ケア最優先の政治に大きく切り替えましょう。

明日 16 日から投票が出来ます！

必ず期日前投票を済ませ、10月27日・28日、熊本で開催される第16回全日本看護介護研究活動交流集会に集い、全国の仲間とたくさんの笑顔で、希望ある大きな一歩を踏み出しましょう！

2024年10月15日[総選挙公示日に]

第46期全日本民医連 看護理事一同

須田 倫子(北海道) 寺島 由美(青森)

志村 政美(埼玉) 加藤 好江(東京)

藤牧 和恵(石川) 坂田 薫(副会長・京都)

石橋 薫(大阪) 森実 美佐(愛媛)

河本 真理(福岡・佐賀) 川上 和美(副会長・熊本)

小牟田 佐知子(宮崎) 宮川 喜与美(全日本)

